

## 2022年度 共同研究「探索研究」公募要項

### 1. 募集事項

研究所が所有する、生薬エキス 119 種類、漢方方剤エキス 42 種類及び生薬由来化合物 96 種類のセット（和漢薬ライブラリー）を用いた探索研究を公募します。本セットは無償で配付します。

探索研究に利用可能な生薬エキス、漢方方剤エキス及び生薬由来化合物は、下記をご覧ください。

[https://www.inm.u-toyama.ac.jp/wp-content/uploads/2022/02/2022fy\\_attachment\\_1.pdf](https://www.inm.u-toyama.ac.jp/wp-content/uploads/2022/02/2022fy_attachment_1.pdf)

#### ※応募にあたっての注意

- ・探索研究は申請者が所属する機関において申請者の研究資金で実施するものです。当研究所で最も関連があると思われる所内の教授に連絡をお取りいただき、研究概要等について打合せいただいた上で、申請願います。なお、該当者がいない場合は所長にご連絡願います。
- ・準備の関係上、ご提供できるセット数には制限があります。予めご了承ください。
- ・生薬エキス及び漢方方剤エキスは 10 mg/ml (150  $\mu$ l; Milli-Q水)、生薬由来化合物は10mM (50  $\mu$ l; DMSO) で配付します (*in vitro*実験に供する程度です)。
- ・研究の進展により、限られたサンプルのみスケールアップした量が必要な場合は連絡先の所内教授を通じて、別途ご相談ください。
- ・各エキスの化学的プロファイリングは本研究所化学系専門職員が担当します。

### 2. 申請代表者

申請代表者は国内公的研究機関に所属する研究者とします。なお、研究組織には申請代表者以外の研究者及び学生を含めることができます。

### 3. 共同研究期間

研究期間：1年間（エキス等の配付開始は、生薬エキス及び生薬由来化合物については2022年5月以降、漢方方剤エキスは作製完了時期未定です。）

※研究期間を延長される場合は「共同研究内容変更願」（様式6-3[別紙2参照]）にてその旨を申し出てください。

### 4. 申請方法

申請代表者は、当研究所で最も関連があると思われる所内の教授（該当者がいない場合は所長）に連絡をお取りいただき、研究概要等について打合せいただいた上で、研究題目、研究目的、研究計画等を応募申請書類の様式にご記入の上、申請して下さい。

提出書類：共同研究申請書（様式4-1[別紙2参照]）

- ・PDF ファイルをメール送付後、印刷したものを郵送願います。
- ・PDF ファイル名は「共同利用・共同研究（探索研究）申請書（氏名、所属）」、郵送時は封筒に「共同研究（探索研究）申請書在中」と記載して下さい。

**2023年3月31日**

受付期間：2022年3月1日～~~2022年12月31日~~

## 5. 採否

富山大学和漢医薬学総合研究所共同利用・共同研究推進委員会において採否を審議した上で、申請代表者へ直接通知します。

なお、採択された申請代表者及び分担者（学外）には、「富山大学和漢医薬学総合研究所協力研究員」を委嘱します。

## 6. 共同研究内容の変更届

申請代表者は、研究期間中に研究組織または研究内容を変更しようとする場合は、届出を行ってください（様式 6-1, 6-2, 6-3[別紙 2 参照]）。

## 7. 共同研究成果の報告

申請代表者は、共同研究期間が終了した後 1 ヶ月以内に「共同研究報告書」及び「活性試験結果報告書」（様式 4-2-1, 4-2-2 及び様式 4-3[別紙 2 参照]）を提出してください。学術情報の共有化を図るため、提出された共同研究報告書は冊子及び研究所ホームページで公表します。また、提出いただきました活性試験の結果は、本研究所の伝統医薬データベースで公表いたします。

※本データベース利用者が研究成果を発表する際には、本データベースを利用して研究を行った旨、明記いただいております（2020 年度～）。

## 8. 共同研究による成果の発表

学術論文、学術集会等で探索研究の結果を公表の際には、その時期がいつであっても、必ず本共同研究プロジェクトまたは和漢薬ライブラリー使用による旨を明記してください。その際、別刷 1 部を提出してください。

### 和文の例

- 令和 4 年度富山大学和漢医薬学総合研究所共同利用・共同研究：探索研究
- 富山大学和漢医薬学総合研究所和漢薬ライブラリー
- 本研究は、令和 4 年度富山大学和漢医薬学総合研究所共同利用・共同研究：探索研究の一環として行われた。
- 本研究は、令和 4 年度富山大学和漢医薬学総合研究所和漢薬ライブラリーを使用して行われた。

### 英文の例

- the Cooperative Research Project with Institute of Natural Medicine, University of Toyama in 2022.
- INM deposited WAKANYAKU library, Institute of Natural Medicine, University of Toyama.
- This research was performed as a part of the Cooperative Research Project with Institute of Natural Medicine, University of Toyama in 2022.
- This research was performed by utilizing the INM deposited WAKANYAKU library, Institute of Natural Medicine, University of Toyama.

## 9. 知的財産権の取扱い

本共同研究での知的財産の取り扱いについては、国立大学法人富山大学知的財産ポリシーによります。詳細は本学の下記のホームページをご参照ください。

知的財産ポリシー：<https://www.u-toyama.ac.jp/collaboration/about.html>

また、知的財産権の取扱いに考慮すべき共同研究成果の発表及び報告に関しては、下記の間合せ先までご連絡ください。別途協議いたします。

## 10. 申請書提出・お問い合わせ先

国立大学法人 富山大学 医薬系事務部 研究協力課

担当 今井美恵子 竹口りりん

〒930-0194 富山市杉谷 2630

電話：076-434-7684（ダイヤルイン）

FAX：076-434-4656

E-mail：[kyoten\[at\]inm.u-toyama.ac.jp](mailto:kyoten[at]inm.u-toyama.ac.jp)

（お問い合わせの際には[at]を@に変換してください）

各研究分野・領域については以下を参照

<https://www.inm.u-toyama.ac.jp/departments/>